



12月の園だより

にじいろ保育園淵野辺

八巻久美子

2022年11月30日

大きなクリスマスツリーがあちこちで飾られ、クリスマスのメロディが聞こえてくるようになりました。早いもので12月ですね。秋から冬に変化していく様子や年末に向けての街の変化に気づかせながらの保育が展開されます。この季節、年末ならではのご家族の団欒もあり心地良い時間をお過ごしください。

今年もコロナ感染の影響を受けて保育園行事も変更もありましたが4月～12月までの行事を子どもたちと一緒に楽しみながら行うことができました。保護者様には、その都度ご協力頂き心より感謝申し上げます。コロナの第8波も心配するところですので感染症対策を今一度見直しながら行っていきましょう。



<12月の予定表>



月	火	水	木	金	土
			1 保育参観	2 点灯式	3
5	6	7 内科検診	8 クリスマス 誕生会	9	10
12	13 避難訓練	14	15	16 お別れ遠足	17
19	20 クリスマス会	21	22	23	24
26	27	28	29 休園	30 休園	31 休園



お誕生日 おめでとう

いけや みれい さん

あかがき しゅうま さん

はたひら まもる さん

いのうえ きょうすけ さん

さくま ちさと さん

こだか いつき さん

<異年齢児の関わる姿から> - 一体も気持ちもほっこり -



さまざまな遊びを通して異年齢で遊ぶ機会が更に増えてきました。

保育者からの言葉かけだけでなく、子ども同士でもお互いの工夫や、素敵なお互いを感じ合っているようになってきています。

4.5歳児に憧れて、3歳児も、いつの間にか異年齢児で関わり合っていく雰囲気があります。

幼児クラスだけでなく毎月行われている誕生会をはじめ11月は、はたらく車ごっこや散歩などで乳児クラスとの交流もありました。乳児・幼児の垣根を超えて子どもたちは、とても仲良くなり姿を見つけるとお名前を呼んで近づき交流をしています。



<はたらく車ごっこより>

・ふたば組 Y さんが梯子車を運転していて、火事になった時一緒に動物を助けたことで、次から火事になるとすぐに駆けつけ、梯子を伸ばして救助を何度も行っていた。

・ふたば組 T さんは工事現場で働く人で、砂を一生懸命 真剣に運んでいました。他のコーナーに誘うも「T くんお仕事しているから」と断り集中していました。

・郵便局にてそら組 M さん・うみ組 Y さん・S さん配達員の役、保育者が手紙を分け「はい！お願いします。」と3人に手紙を分ける。配達した子は「次のお手紙ありますか？」と戻ってくる。保育者が「まだきてないですね」というと「見てくる！」と各家に集まった手紙を回収したり、再び手紙分けをし同じように遊ぶ。しばらくしてジュースを買った Y さんは、「お手紙来ないから休憩しましょ」というと4人にジュースを配る。手紙がなくなると、回収と休憩の2パターンで繰り返す遊ぶようになる。子どもたちから「休憩ねー」のワードが出てくる。

・そら組 K さんが、アイスクリーム屋さんをしているとうみ組の Y さんも隣で真似て「カップとコーンどちらにしますか？」と聞いたり、渡したりと楽しんでいた。

<月と太陽の天体ショー> - 皆既月食 -

太陽・地球・月が一直線に並び、月が全て地球の影に入る皆既月食が11月8日に見えました。この日は同時に天王星が月に隠れる天王食も起こるのは極めて珍しく、国内で見られるのは1580年7月以降約442年ぶり。次に同様の「天体ショー」が国内で見られるのは322年後という位珍しい現象でした。幼児クラスでは「見た！」と言う子どもたちが多く関心度の高さが伺えました。

